

細胞診検査を受けられる方へ

細胞診検査の御案内

細胞診検査ってなに？

採取した細胞を染色して顕微鏡を用い、悪性細胞（主にはがん細胞あるいはがんを疑う細胞）の有無を調べる検査です。

誰が検査しているの？

婦人科医，細胞診指導医，細胞検査士が協力して検査をしています。

細胞診指導医ってどんなお医者さん？

日本臨床細胞学会という学会認定資格をもった専門の医師です。
4年毎の更新が必要で、学会出席などが義務付けられています。
当院では広島市医師会臨床検査センターより広島大学
産婦人科教室の指導医に診断を依頼しています。

細胞検査士ってどんな仕事をする人？

日本臨床細胞学会という学会認定資格をもった
検査技師です。
4年毎の更新が必要で、学会出席などが義務付け
られています。

どんなふうに検査しているの？

当院では広島市医師会臨床検査センターに検査を委託
しています。

標本の作製 → 細胞検査士が受付，染色，等を行
います。

細胞の検索 → 細胞検査士が悪性を疑う細胞を見つけ出します。
悪性を疑う細胞が見られない場合は細胞検査士が陰性
の最終判定をします。

細胞の確認 → 悪性を疑う細胞が見られた場合、細胞診指導医が最終
診断をします。

細胞診の判定ってどんなになっているの？

I～Vまでの5段階で判定しています。

I～IIは悪性を疑う細胞が見られないと判定します（細胞検査士）

III～Vは悪性を疑う細胞が見られる場合の判定です（細胞診指導医）

尚、判定結果の詳細については婦人科医にお尋ねください。

